

第2章 現状と課題

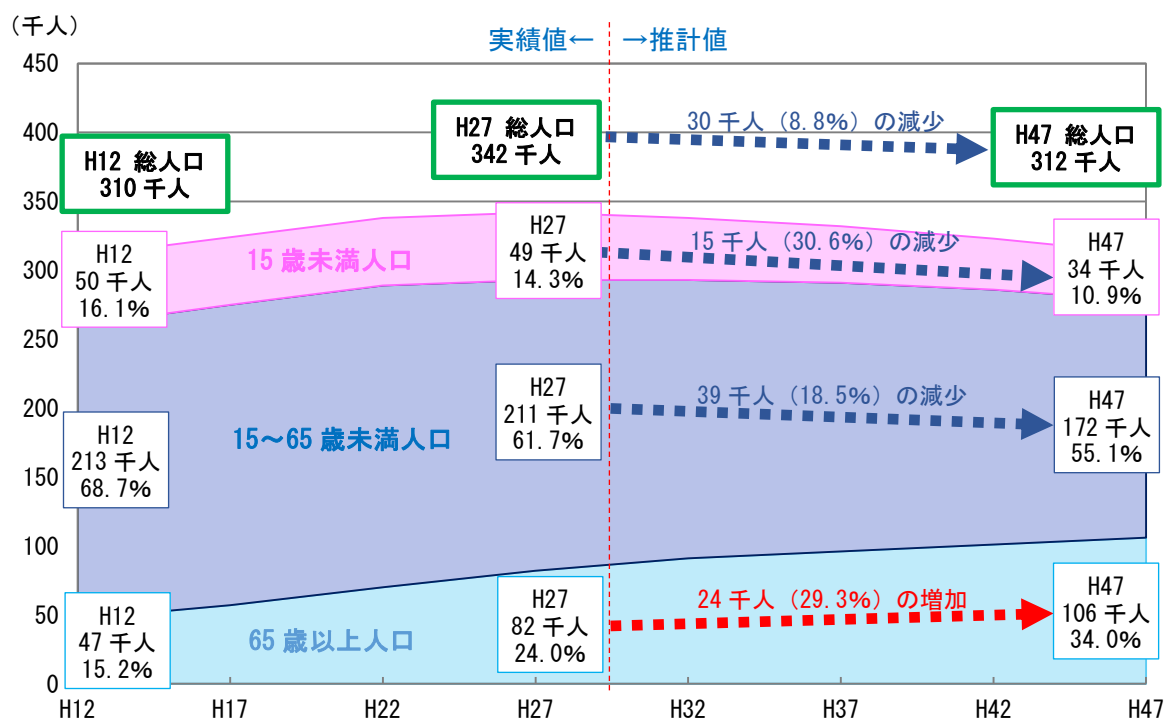
2-1 本市の現状

2-1-1 人口推移と将来推計

●人口減少、少子高齢化が進行、高齢者が増加

[データ解説]

- ・大津市の人口は、平成12年から平成27年まで増加してきましたが、近年その増加幅は小さくなり、横ばい状態となっています。
- ・平成47年（2035年）の総人口は、約312千人、平成27年から約8.8%減少すると予測されます。特に、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15～65歳未満）が減少する一方、老年人口（65歳以上）が大幅に増加し、人口減少、少子高齢化が同時に進行していくと予測されます。



■年齢階層別人口の推移と将来推計

資料：都市計画マスタープランより引用

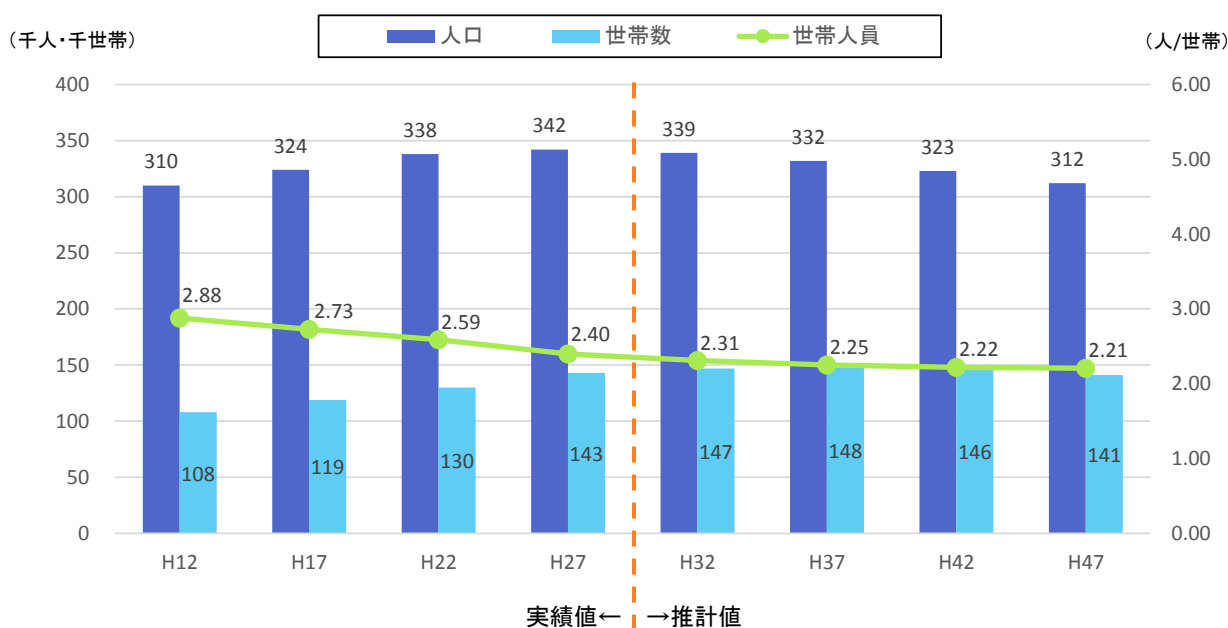
2-1-2 世帯構成

(1) 世帯数・世帯人員

●世帯数の増加と世帯人員の減少

[データ解説]

- ・これまで人口、世帯数ともに増加してきましたが、今後世帯数は緩やかに増加が続くものの、人口は減少傾向が始まるとみられています。
- ・一方、世帯あたりの人員数は減少が続いており、今後も、世帯人員の減少が続くと見込まれます。



■世帯数・世帯人員

資料：[H12～H47 人口] 都市計画マスタープランより引用
 [H12～H22 世帯人員・世帯数] 大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略より引用
 [H27 世帯人員・世帯数] 住民基本台帳
 [H32～H47 世帯人員の推計値] H11～29の住民基本台帳のデータを基にトレンド推計
 [H32～H47 世帯数の推計値] 人口の推計値÷世帯人員の推計値により算出